

第4期第4回会員交流会(電気・機械グループ)開催

「知財担当者の育成(1)」

会員交流会(電気・機械グループ)が11月4日に住友クラブで開催されました。当日は19名が参加し、「知財担当者の育成」をテーマに、グループリーダーの谷和紘弁理士の司会で論議されました。

今回の議題に入る前に、前回のテーマ「事業における知財戦略」に関し、前回、時間の関係で発表できなかった2名の発表・討議を行いました。「発明発掘会」の運営の仕方、「特許ベースの技術プラットフォームの構築」などに興味が寄せられました。

本題の「知財担当者の育成」というテーマに関し、司会の谷リーダーから、参加者全員の意見を聞いて議論を進めたいので、今回と次回2回に分けて議論してはどうかとの提案がなされ、参加者の賛同を得て、そのように進めることになりました。



まず、どのような「知財担当者を育成」せねばならないかというところから議論に入り、「発明者」「知財担当者」「弁理士(特許事務所)」という3種類の登場人物の中で、「発明者」の資料の中から、「構成要件」「作用」「効果」を、「発明者」が想定もしていないような広がりも含めて、もれなく、引き出して、「言葉」で表し、「弁理士(特許事務所)」に説明する、というのが「知財担当者」の業務であり、その育成のためには、明細書を読むこと、書くこと、経験豊富な先輩の経験を生かすこと、などが論じ

られました。関連する話題として「機能モデル」「海外出願」「英語力向上」にも議論が及びました。

【次回の予定】 電気・機械グループ:1月12日(火) 14:00~17:00

テーマ:「知財担当者の育成(2)」

なお、化学・材料グループは、11月9日(月) 14:00~17:00に、「出願か秘匿かの判断基準」に関して各社からの紹介と議論の予定です。

※会員交流会には、いつでも参加できます。ご希望の会員は当協会の事務局にご連絡ください。